

令和 6 年度第 1 回堺市中区政策会議 会議録

日時：令和 6 年 7 月 16 日 19 時 00 分から 21 時 00 分まで

場所：堺市 中区役所 4 階 大会議室

出席者：【構成員】（敬称略）伊藤久美子、今西千晶、太田佳世、金澤正巳、澤本美奈子、
静又三、竹井進、谷村修、中辻さつ子、松居勇、森田裕之、梶原愛未、桂
恵輔、堤朋子、山口睦季（以上 15 人出席）

【事務局】影山誠（区長）、竹内秀和（企画総務課長）、重谷憲治（企画総務課長
補佐）、川元慎平（企画総務課企画係長）、神楽所千花代（企画総務課
副主査）

1 開会

○司会（川元） 会議開催に先立ちまして、配付資料の確認をお願いします。

議事次第の下に配付資料一覧を記載しています。

足りない資料がないか確認願います。

資料はお揃いでしょうか。

傍聴にお越しいただいております皆様へお知らせします。

傍聴にあたりましては、受付の際にご案内いたしました堺市懇話会の傍聴に関する要綱を遵守いた
き、発言については固くご遠慮いただきますようお願いいたします。

また、あわせてアンケート用紙も添付しておりますので、中区政策会議の会議について、ご意見ご感想
がありましたら、そちらへご記入願います。いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。

なお、この会議は公開で実施しております。事務局において、中区長 X（旧）Twitter への掲載等の
ため、写真撮影や録音を行っていますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

それでは、ただいまから令和 6 年度第 1 回、堺市中区政策会議を開催させていただきます。

私は本日の司会を務めさせていただきます中区役所企画総務課の川元と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは次第に従いまして、順に進めさせていただきます。

まず開会にあたりまして、中区長の影山よりご挨拶を申し上げます。

2 中区長挨拶

○中区長（影山） こんにちは中区長の影山です。

本日はお忙しいなか、令和 6 年度 第 1 回 堺市中区政策会議にお集まりいただきまして、誠にあり

がとうございます。

昨年度の会議では、第1回が「誰もが安心して子育てができる中区をめざして」、第2回が、「深井駅周辺地域の活性化について」をテーマに、構成員の皆様から多くのご意見、ご提案を頂き誠にありがとうございました。

いただきましたご意見等につきましては、効果や優先度などの検証を行い、授乳室の設置などについて、今年度、中区役所内に設置を行う予定です。

今回のテーマは、「持続可能な中区の活性化に向けた魅力発信強化について」でございます。

中区を魅力ある都市として活性化していくために、前回のテーマでありました「深井駅周辺地域の活性化」の取組と併せ、中区の魅力ある地域資源を、もっと多くの方々に実感してもらえるよう取組を進めなければならないと考えています。

例えば、行基が奈良時代に築いた国指定史跡の土塔や、原池公園のくら寿司スタジアム堺、スケートボードパーク、全天候型バーベキュー施設、国の伝統的工芸品に指定されている注染など、他にはない貴重な魅力資源が、中区には数多くあります。

これらの魅力資源を、どのように情報発信を行っていけば、より多くの方々に中区の魅力を実感してもらえるのかについて、構成員の皆様から忌憚のないご意見・ご提案をいただければと思います。

限りある時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（川元）ここからの会議進行につきましては、まず私の方から議題の設定理由について説明させていただきます、その後、森田座長に進行をお願いしたいと思います。

それでは今回の議事の設定理由についてご説明いたします。

先ほど区長の影山も申しましたとおり、中区には注染・和晒や土塔、原池公園野球場などに代表される様々な魅力資源がありますが、これらの魅力をより効果的に多くの方に伝え、中区を訪れる方を増やしていくことが中区を活性化させ、またその活力を持続させるにあたって非常に大切であると考えています。

区広報紙やホームページ、SNSなどの媒体を用いて区の魅力の発信を行っているところではありますが、まだまだ不十分であり、その価値や貴重さ、良さをうまく伝えきれていないことも多々あるかと思います。

そこで、中区役所としましては、今回の政策会議において、魅力を伝えるターゲットを市内の他区や大阪府下の近隣市など比較的中区に近い場所にお住まいの方と設定したうえで、それらの方にどのような中区の魅力を伝えていくべきか、また、どのような方法で情報発信を行えば、効果的に区の魅力を伝えられるのかについて、構成員の皆様からご意見・ご提案を頂戴し、今後の魅力発信の参考としたいと考え、議題を「持続可能な中区の活性化に向けた魅力発信強化について」とさせていただきます。

議事の設定理由については以上です。

では、森田座長、会議の進行をよろしくお願いいたします。

3 議事

○森田座長 皆さんこんばんは。

座長をさせていただく森田でございます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと存じます。次第 3 議事「持続可能な中区の活性化に向けた魅力発信強化について」でございます。只今、事務局から議事の設定理由についてご説明いただきました。

引き続き、先日開催された“学生部会”について事務局より概要を説明させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局（川元） 学生部会の概要について説明させていただきます。

中区では、令和 3 年度第 2 回目の会議より、学生構成員の皆さんの会議案件への理解を深め、会議当日の意見提出の助けとするために、学生構成員だけで先行して意見交換等を行う学生部会を開催しております。

今回は 6 月 26 日に実施し、7 名中 4 名の学生構成員の皆様が参加してくださり、事務局から資料についての説明を受け、事務局との質疑応答や意見交換を行いました。

学生部会についての説明は以上となります。

○森田座長 次に、6 月 26 日に開催された学生部会について、参加していただいた学生構成員の一人である桂さんに意見交換した内容について報告していただこうと思います。

桂さん、お願いします。

○桂構成員 大阪公立大学大学院応用生物科学専攻、桂恵輔と申します。

先日、開催されました学生部会において、参加学生で話し合った内容について報告させていただきます。

資料 3『令和 6 年度第 1 回中区政策会議学生部会 報告』をお手元にご用意ください。

まず、一つ目の質問「近隣の方に中区に来てもらうためにはどのような区の魅力を発信していくべきか？」については、資料の上半分のような意見がでました。

いくつか補足で説明しますと、二つ目の水賀池公園や区のキャラクターを作るについてですが、キャラクタービジネスはあたれば効果が高いと考えられます。例えば今後整備される水賀池公園のキャラクターや区のキャラクターを作って、他の中区の魅力と組み合わせで発信するのもよいのではという意見が出ました。また、その際にゆるキャラだけではなく、イケメンキャラ（例：刀剣乱舞）や女の子のキャラ（例：鉄道むすめや温泉むすめ）も検討したら面白いのではという意見もありました。

また、3 つ目の注染・和晒や 5 つ目の体験施設のところに書いてあるとおり、これが魅力だ！と行政に言われるよりも、実際に自分で体感することでその良さを他の人に伝えていくことができると思います。そのため、できれば駅の近くに購入したり体験したりできる施設があればよいと意見も出ていました。

続いて 2 つ目の質問「有効な情報発信について」は、下をご覧ください。

SNS では見ている内容から関連する情報をオススメとして表示してくれます。そのため、自分たちも含め特に今の若者は Instagram や YouTube のショート動画、TikTok などから情報を得ていることが多いです。

また、政策会議の資料にある注染 WEEK 来庁者のアンケート調査では、あまり堺観光ガイドでの周知は効果がなかったように見えますが、歴史や建築物が好きな構成員からは訪れるイベントなどを探すときに SNS よりも観光協会の HP などを見るほうが歴史関連のイベントなどが固まって掲載されているため情報を得やすく、載せてくれるほうがありがたいといった意見も出ました。

学生部会の報告は以上になります。

○森田座長 はい。桂さん、報告ありがとうございました。

さて、構成員の皆様からそれぞれたくさんのご提案・ご意見をいただき、その内容を資料 2 にまとめていただきました。また、学生部会においても、ただ今報告がありましたように様々なご提案やご意見を出していただいたようです。それらの内容をご覧いただいて、新たなご意見などございましたら、ご発言をお願いいたします。

クエスチョンが 2 つありますので、重なってくる部分もあると思うんですけども、だいたい半分ずつくらいの時間で区切ってご意見を伺って行こうと思っております。

では最初にもう Q1 です。何について魅力を発信していくべきか、という質問になりますが、学生部会で議論している中で、例えば Q1 について、かなり意見が多かったものは何かありますか。

○桂構成員 ゆるキャラに関する意見は多かったです。また、注染に関する意見では、泉北高速鉄道とコラボした手ぬぐいを出してはどうかという意見が出ていました。

○森田座長 ゆるキャラについて、こんなゆるキャラにしたらよいなどの具体的な意見はありましたか。

○桂構成員 特にありませんでした。

○森田座長 泉北高速鉄道とのコラボは、中区に鉄道が通っているからという理由でしょうか。それとも鉄道好きの人たちに魅力を訴求していきたいという理由でしょうか。

○桂構成員 両方の側面がありますが、せっかく地元に着した鉄道があるので、コラボしてみてもいいと思うほうが理由としては強いです。

○森田座長 ちなみに、学生部会に参加した学生 4 人の中で注染が伝統産業と知っていた学生は何人いましたか。

○桂構成員 元々知っていた学生はほとんどいませんでした。

○森田座長 Q2 の方で歴史に関して有効な情報発信として、観光協会のホームページを推していたが、そのあたりはどうなんですか。資料 1 の P28 をみると、注染 WEEK の情報発信において、観光協会の

ホームページをみている人はかなり少ないという結果が出ていますが。

○桂構成員 そのイベントの時の結果としては少ないが、観光協会のホームページは歴史という特定のジャンルについて詳しくまとめているため、歴史に興味がある方にとってはそこさえ見れば色々な情報を得れるというのがポイントだと思います。

○森田座長 同アンケートで効果の高かったアスマイルですが、これがどんなものかを知っている学生はいましたか。

○桂構成員 いませんでした。

○森田座長 今の学生の意見を踏まえ、魅力発信について Q1 の方は何について発信するかという話、Q2 はどのようにして発信するかという観点で議論をしていただきたいと思います。

まずは Q1 の方からお願いします。何かご意見はございますでしょうか。

○伊藤構成員 歴史や遺跡、古墳もたくさんあるので、そういった内容がいいかと思います。それと、グルメやレジャーなどもよいと思います。Q2 の方になってしまうのですが、発信はやはりこのご時世、SNS を活用していくべきだと思います。ただ、高齢者やスマホに慣れていない人への情報を伝える手段として有効なのはやはり紙になってしまうので、SNS のみではなく、そのあたりも含めて考えていなければいけないと思います。

インフルエンサーと呼ばれる人が中区にもいて、YouTube で中区のグルメを紹介しています。私も最近よく見えています。

○森田座長 たくさん挙げていただけていますが、その中での優先順位はどうでしょうか。

○伊藤構成員 どれも大事だと思いますので、まんべんなく発信していくのがいいと思います。また、一回載せたら終わりというわけではなく、毎日配信を継続することが大事であり、そうすることで誰かにつながっていくかと思います。

○森田座長 毎日発信することが重要だというご意見ですね。おっしゃる通りだと思います。では、魅力の中でも、毎日発信できるようなコンテンツはどれになりますでしょうか。

○伊藤構成員 この中だと、食べ物が発信しやすいと思います。

また、行政が自分たちだけでやるのでは負担が大きいの、民間の人の力を借りなければ、毎日の発信はできないと思います。

○森田座長 学生さん達で話し合った中で、これなら、魅力として継続的に発信できるというのは何か話がでていましたか。

○桂構成員 具体的にこれというのは話の中では出ていませんでした。

○森田座長 歴史的なものの伝統的なもの、土塔やお祭りの話もあります。その中で推していくようなもの、アイデアとかこうしていくべきとか、何か意見はありますか。

○谷村構成員 原池公園を中心に野球場、スケートボードパーク、matoiなどは発信しやすいかと思います。注染であれば、堺出身のコブクロとコラボするなどいいかと思います。また、キッチンカーが流行っているの、土塔で出店するなどイベントを行うのもいいと思います。

○竹井構成員 深井プラザでゆるキャラを募集して、今、「ふかつぶくん」というのがいます。堺シュライクスにも「ライパチくん」というゆるキャラがいて、泉北高速鉄道には「せんぼくん」がいます。野球場のイベントでコラボしたのですが、ゆるキャラがいて盛り上がるのでいいなと思っていました。その時は、まだ「ふかつぶくん」のゆるキャラが完成してなくて、キャラクターのコラボができなかったことを残念に思いました。中区でもゆるキャラの募集をしてみてもいいのではないのでしょうか。

○森田座長 ゆるキャラがたくさん集まると効果があるのでしょうか。

○竹井構成員 イベント時の撮影会などでは一定の集客がありました。動画も撮影してアップしていますが、野球場のイベントの時は、他の動画に比べ、検索数が多かったです。

ただ、夏場の着ぐるみは中に入る人の体力的に厳しいので、15分くらいしか出せません。

○今西構成員 だんじりの大工方（屋根に乗っている人）は人気なので、体験できる施設があるといいなと思っています。また、地域の子供達がミニサイズのだんじりを曳いている様子を見たことがあります。そういったミニサイズのだんじりが曳ける体験もいいなと思います。

資料にも上がっているやまつ辻田が好きで、百貨店などでもよく量り売りなどで販売されています。やまつ辻田の七味はとてもおいしいので、どのお友達に送っても喜ばれます。

○森田座長 体験が重要というのはおっしゃる通りだと思います。東京にあるにじゆらの店舗に商品の紹介と体験ができるスペースを造っていて、多くの観光客や地元の方が体験していかれると聞いています。やはり自分で試してみないことには良さがわからないし、良さがわからないと人に伝えるのも難しいため、体験施設は重要かと思います。

○太田構成員 だんじりのVR体験などができないのでしょうか。

大工方の目線を体験できるものがあったら私もやってみたいです。

子育てひろばで蜂田神社の風鈴まつりに合わせて、社務所で出張子育てひろばをしているのですが、子どもたちが風鈴に絵をかくて奉納しています。7年くらい続いていて、これまで参加された親御さんで他市に引っ越しされた後も見に来てくれている方もいます。

随分前から個人的ににじゆらが好きなのですが、長い間、中区で作っていると知らずに使っていました。にじゆらはたくさんの企業とコラボしたてぬぐいを作っているの、ぜひとも泉北高速鉄道とコラボして欲しいです。

前から思っていたのですが、地域で防災バッグをつくって、その中に手ぬぐいを入れるのがいいと思っています。また、大きめのガーゼマスクに保冷剤を挟んで子どもの背中に背負わせると暑さがしのげるので、そういったものを手ぬぐいで作ってもいいし、手ぬぐいが色々な用途で使えることを紹介するのいいと思っています。

○金澤構成員 歴史的なもの、伝統的なものといっても、中区だけを見ると市外にまで推していけるほどの魅力的な点はあまりないと思っています。しかし、市全体でいえば信長・家康など人気の高い武将に関する話や会合衆など魅力的な歴史があります。南宗寺にいくと家康が大坂夏の陣で乗っていたといわれる駕籠（かご）があり、墓もあります。妙国寺には信長が安土城に持ち帰ったものの毎夜泣くため妙国寺に戻したと言われている蘇鉄（そてつ）もあります。

住民でもこういったことを知らない人が多いのではないかと思いますので、中区だけでなく、堺市全体の中の中区として考え、ソフィア・堺などで堺の歴史の魅力を伝える動画を流してはどうかと思います。

また、小江戸と呼ばれることもある埼玉県川越市の例で、歴史的な町並みを残すため、電柱を地中に埋め無電柱化したという取り組みがありました。そこでのイベント開催時には県外の東京都内までPRされているそうです。堺市や中区のイベントをどこまで周知しているのかわかりませんが、大阪府などまで広報の範囲を広げ、より広くPRすることも大事なのではないのでしょうか。

○森田座長 市全体という考えもありますが、その中でも中区に直接的に関係している歴史的なものという何が思いつけますか。

○金澤構成員 行基や土塔だと思います。しかし、土塔は雑草が生えていますし、国の史跡に指定されていると思えない状態です。魅力として推していくのであればきちんとお金を投じて整備する必要があると思います。

○梶原構成員 市全体の歴史文化といえば、鉄砲鍛冶屋敷などがあり、堺区では観光ボランティアの方もいて説明を受けることができますが、中区では無いのかなといったように感じます。

そのため、以前、本庁の展望ロビーで開催されていた『ゴルゴ13展』のように、区内の歴史文化に関するパネル展示を実施するのも良いのではないかと思います。

他にも、歴史文化の背景も含めて、区内の魅力を知ってもらえるきっかけとして、新たに謎解きツアーな

どのイベントを開催してみるのでしょうか。

○森田座長 中区在住者として土塔や注染についてどう思われますか。

○梶原構成員 土塔は隣接の公園に遊びに行く以外の目的で行くことはありませんでした。幼い頃からあまりに近い存在すぎて、土塔がすごい史跡だということを感じたことはありませんでした。

注染については、実は最近まで知りませんでした。若い人の中ではあまり知られていないと思います。注染で有名な毛穴町は、同じ中区ではあるものの離れているし、自転車や徒歩では行きにくい場所にあるので、それも馴染みのない理由かもしれません。

○森田座長 小・中学校などで注染についての授業はありましたか。

○梶原構成員 遠足か社会科見学などで土塔を見に行ったことはありましたが、注染について授業で学んだ記憶はありません。

○堤構成員 大学に通うまで、中区のことを全然知りませんでした。堺という地名は学校の授業で聞き知っていましたが、堺についても中区についても何を魅力として持っているのか知りませんでした。今では、中区にはたくさんの魅力があることを知りましたが、中区と言えばこれ。といったイチオシのものがないと思います。でも、イチオシまではいかないものの魅力はたくさんあると思っています。住みやすく暮らしやすいところですし、古墳やカフェもあります。私は古墳が好きなので、ネット上の情報をよく見たりする経験から、情報発信の仕方としては、個々の好みに応じたそれぞれのテーマごとにリンクをつけ、その先にガイドがあって深掘りの情報収集ができるような、まとめページのような情報ツールがあってもいいのかなと思っています。

○中辻構成員 中区は良い意味で落ち着いているが、これというものがありません。注染もテレビ等に取り上げられ広まっていると感じますが、注染の体験も何度も行こうと思うほどのものでもありません。

区内にはだんじりをやっている地域が多く、若者達はだんじりを楽しみにしていますし、土師町と土塔町ではふとん太鼓をやっています。これらのまつりを集めた「まつりスタジアム」の施設があれば、広く若い人が関心を持つのではないのでしょうか。

また、中区には、くら寿司スタジアムや原池公園があり、そこで区民フェスタも開催しています。イベント時、是非とも竹井会長のおっしゃっていたゆるキャラに来てもらって広めてもらいたいです。

これから若い人の力を借りて、そういったものをつくっていただきたいと思います。

○松居構成員 区の魅力発信にあたり、大事なことは話題性だと思っています。映えるスポットとして、年に数回訪れるという場所があればいいけれど、それが中区には無いのかなと思っています。魅力はあるにはあるけれど、無難にまとまっていて話題となるものが無いように感じます。そのような中、今、大いに期待しているのは水賀池公園の開発です。中区には駅前で大規模のイベントを開催できる場所がありません。し

かし、水賀池公園は区役所の近くでもあり、人が行き来する中区唯一の駅が近くにあるので、水賀池公園に行けば何かあるというような施設ができてくれたらいいなと思っています。

○森田座長 何か具体的に水賀池公園でこういうイベントをしたらよいのでは、等のご提案はありますか？

○松居構成員 今まで、原池公園など色々な場所でやっているのですが、音楽イベントが良いと思います。プロが来て聞くだけのコンサートより、地域の方や観客も一緒になって作っていく参加型のイベントが良いと思います。

○森田座長 Q 2 についてはいかがでしょうか。Q 1 を交えた内容でも結構です。

○澤本構成員 中区内のイベントの情報発信については、バス車内での吊り広告が見てもらいやすいと思います。

堺市で注染のイベントを開催していますが、注染の浴衣は値段が高いです。浴衣に仕立てる前の一反もので購入して洋服を作る人もいるほど肌触りが良いけれど、若い人にとっては注染の浴衣は高く買えないものです。もし、浴衣がレンタルできれば、若い人でも試してみることができるのでいいと思っています。また、レンタルした浴衣を着てお店を訪れたら割引してもらえるようなサービスがあるといいと思います。

○森田座長 レンタルがビジネスとして成り立つためには、回転する必要があります。京都の着物レンタルのように年中観光客が訪れて毎日レンタルされる方がいらっしゃった場合には成り立ちますが、浴衣は夏のみとなりますので、イベントを絡めた企画だとしてもビジネスとしては結構難しいかなと思います。

○山口構成員 中区长 X を拝見したところ、ハッシュタグが使われていないようでしたが、今ある情報発信コンテンツの使い方を見直し、ハッシュタグを上手く使うことで情報発信に大きな効果があると思います。

例えば投稿に「中区の魅力」とハッシュタグをつけておけば、見る人がそのハッシュタグを押すだけで同じハッシュタグを付けた他の人達の投稿が見れます。区役所だけでなく、たくさんの利用者が思う「中区の魅力」を見ることができるので、活用すべきだと思っています。

○森田座長 なぜ、ハッシュタグ付きの投稿がされていないのでしょうか。どう思われますか。また、ハッシュタグを作っても、無理に使って発信をしてもらうのでは意味がないので、一般の方も自主的に使いたくなるような仕掛けが必要かと思っています。何かそういった工夫はありますか。

○山口構成員 されていない理由としては、推測ですが、若い人はハッシュタグを使いますが、世代が変われば使わないのかもしれませんが。

また、全国の自治体の公式 X などを見ていると、高知県か高知市の事例で、あらかじめ市が決めたハッ

シュタグを付けて高知市内の旅先の写真を投稿すると、抽選で景品が当たるという企画がありました。そういうイベントも面白いのではないかと思います。

○松居構成員 以前、地域ＳＮＳのピアZZaを使って梶原さんの意見にあるような、市民広報部での情報発信をしてみようと試みたことがありましたが、なかなか上手くいきませんでした。区役所主導ではなく、市民が仕掛け人となれるような、多様な発信を得意とする人がいてひっぱり合ってくれたらいいなと思いました。

○森田座長 情報の発信というのは、プロモートしてリードしてくれる人がいないことには、なかなか難しいものです。最初は難しいものですが、波に乗ればいいのですが、工夫が必要かと思います。

○太田構成員 テレビ番組で、住吉公園内に新しく住吉公園屋台村という飲食店を集めた新しいスポットができたと見ました。同じように、中区で新しく開発される水賀池公園でも屋台村のように飲食店ができると人が集まり活気が生まれると思います。併せて、夏なら風鈴まつり、秋ならだんじりなど、一年中、何かのイベントができたらいいなと思っています。

○森田座長 飲食は日々のものですし関心も高いので、飲食のイベントをすると集客が見込めると思います。情報発信の仕掛けとしてグルメの魅力を使ってもよいのではないのでしょうか。

○伊藤構成員 情報発信のトリガー（引き金）やキーワードとして短い言葉で共通するものがあればいいと思います。キーワードをあちらこちらの目につく場所に散りばめることで、少しずつアピールすることができます。そして、ハッシュタグとしてキーワードを利用することで様々な投稿であっても共通した情報発信が可能になります。見る側も同じキーワードを調べることができるので、共通して使えるキーワードを継続して発信していくことが重要だと思います。

○森田座長 皆さんに愛着をもってもらえるようなハッシュタグがあればいいですね。

○桂構成員 中区のハッシュタグでは、見る人が中区に限られてしまうので、今回の趣旨である近隣市や他の区の人を呼び込むことができないと感じました。もう少し広い範囲で、例えば堺市のハッシュタグの中に中区の情報が入っているというような発信の仕方が良いと思います。

○森田座長 金澤構成員がさきほど発言された堺市全体の中区という見せ方だと思います。刃物や線香、自転車などと一緒に情報を見てもらうことがよいのではないのでしょうか。

○桂構成員 ハッシュタグは複数つけることができるので、「＃堺市」「＃中区」といったように列挙すると良いと思います。

○竹井構成員 商店街のイベントでエコバックを配ったことがあります。堺の特産品の絵柄を描いたエコバックを製作して配ったのですが、皆さんに喜んでもらえたい一番使っていただけるものなのではないかと思っています。注染が裏表の柄が同じということをお聞きして、エコバックを作ればよいのではないかと思いつきました。汚れてきたら裏返して使うことができるのでとても良いと思います。注染製品を皆さんに使っていただくきっかけとして、エコバックがあってもいいのではないのでしょうか。

○森田座長 まずは皆さんに注染製品に触れていただく機会を増やし、注染製品の良さを実感してもらうことが大事ですね。やまつ辻田の七味を私は知らなかったのですが、中区にはまだまだ良い物があるようですので、まずはたくさんの皆さんに知っていただくことが大事かと思います。

○金澤構成員 今の時代に合わせた中区の魅力とは何なのかを考えたときに、先祖から深井を地元として住む者として、色々な面において変えていかなければいけないと思ってきました。深井周辺には行基ゆかりの場所が多く、水賀池も行基によって作られたため池だと言われていますが、今の人々の生活にとって必要なものなのだろうかと思い、桜やツツジがきれいに咲き、老若男女が集える場所を作る方がよいのではないかと考えました。そして、市とも相談し、水賀池を埋め立てて開発する方向で現在進めているところです。水賀池公園が整備され、イベントが開催できるような場所、皆が集まれる場所になれば、中区の代表的な魅力になるのではないかと考えています。水賀池公園が整備されれば区民フェスタもこの場所で行うのがよいと思います。

また、中区には高校が3つもあります。若い人の発表や活躍、活動の場にもなればよいなと思っています。

○伊藤構成員 開発される水賀池公園が、商業施設だけではなく、地域の人たちがイベントなどを開催できる多目的な施設となることを望みます。また、色々な形態のイベントに対応し自由が利く施設になることを期待しています。中区といえば水賀池と言えるぐらいのシンボリックな施設になるといいですね。

○森田座長 情報発信について色々意見が出ましたが、一つ取り組めばいいというものではなく、色々な取り組みが必要なのではないのでしょうか。また、中区内の魅力同士をリンクしたり、堺市や大阪市に範囲を広げリンクしたりするなどの取り組みも必要なのではないのでしょうか。

○森田座長 それではそろそろ時間となりますので、他にこれだけは言っておきたいというものがなければ締めにはいらさせていただきますと思います。

本日は、構成員の皆様から活発なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。事務局におかれましては、構成員の皆様からいただいた様々なご意見を、今後の区政運営に活かしていただきますようお願いいたします。

これで、本日の議案はすべて終了しました。

本日の議案、あるいは、それ以外でも、何かご意見、ご質問はありますか？

議案内容に対する意見や何か不明な点がありましたら、遠慮なく事務局へ申し出ていただきたいと思います。

それでは、司会にお返しします。

4 閉会

○司会（川元） 皆様、活発なご意見の交換・ご提案ありがとうございました。

閉会にあたりまして、中区長の影山よりご挨拶を申し上げます。

○中区長（影山） 本日は、長い時間、色々なご意見をいただきありがとうございました。今回も構成員の皆様には非常にためになるご意見・ご提案をいくつもいただきました。いただいたご意見・ご提案につきましては、今後、一つでも多く事業化・具体化できるよう、検討を行っていきます

本日は本当にありがとうございました。

○司会（川元） 以上をもちまして、令和6年度第1回堺市中区政策会議を閉会させていただきます。

構成員の皆様におかれましては、会議の開催にあたり、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。